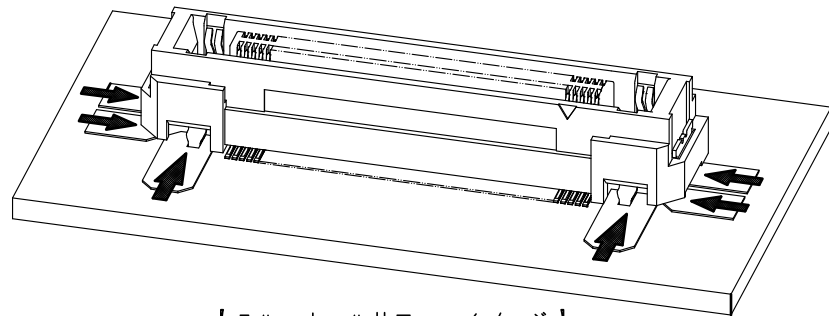


May.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

本コネクタの破損や接触不良（嵌合不良など）を防ぐ為、以下の内容をご確認の上ご使用ください。

【基板実装】

本コネクタの電源端子や補強金具などのDIP部は、周囲からはんだペーストを引き込むスルーホールリフロー工程を採用しております。はんだペースト印刷エリアは銅箔ベタ(レジスト有り)または銅箔抜きフラット面としてください。スルーホールへのはんだ流入経路上にパターンやVIAホールなどのフラット面を損なう形状がある場合、はんだペーストをうまく引き込むことが出来ず、ボール状のはんだが基板面に残る可能性があります。未はんだの原因となる恐れがあります。

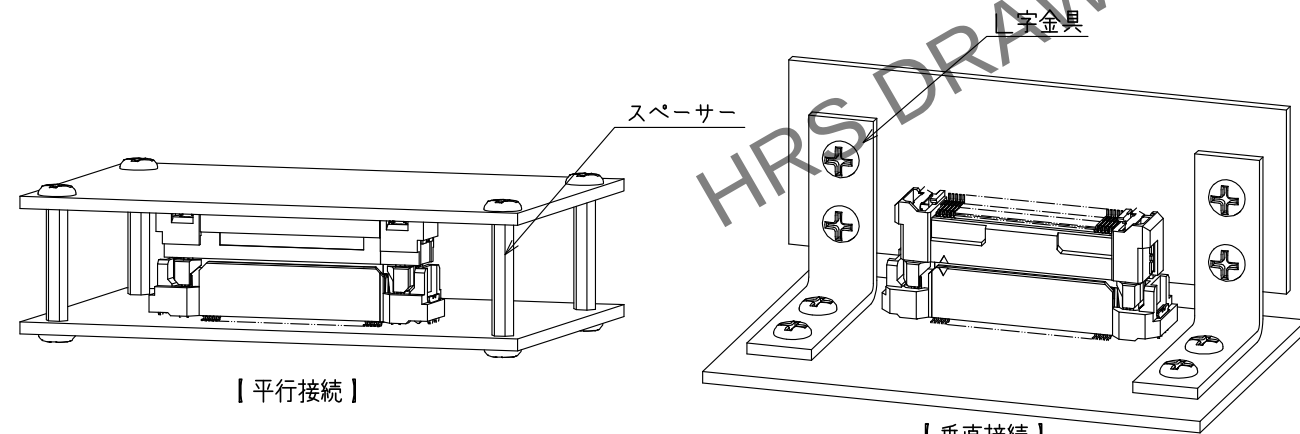


【スルーホールリフローイメージ】

実装面側にはんだ印刷することが出来ず、やむを得ず裏面からはんだを供給する場合、はんだがうまくスルーホールへ流れこまず、電源端子との接続が不十分となる場合がございます。実装後にスルーホール内にはんだが十分に充填していることを基板の表面から確認するようお願い致します。

【基板固定】

本コネクタのフローティング機構は位置ずれを吸収することを目的としたものであり、振動や衝撃を吸収する機能は有していません。固定対策を行わずコネクタのみで基板を支えた場合、コネクタに過度の負荷がかかり、コネクタの破損や接触不良の原因となる恐れがありますので、必ず下図のようにコネクタ以外で基板が動かないように基板固定対策を行ってください。



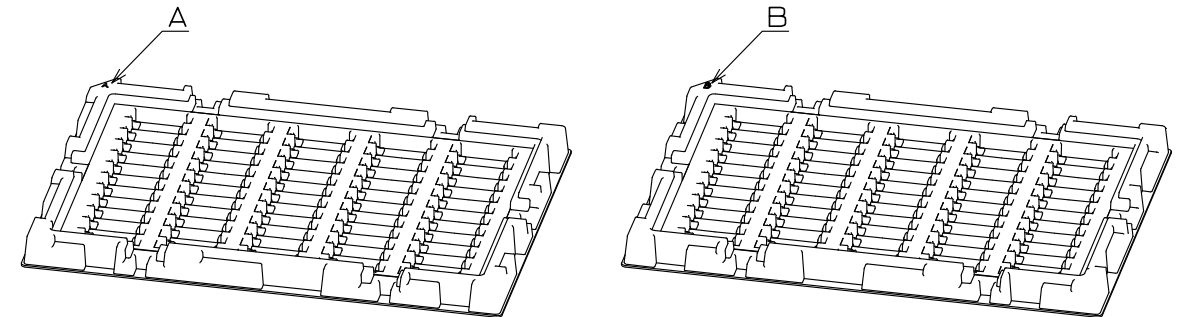
【平行接続】

【垂直接続】

なお、スペーサーをコネクタから離れた箇所に設置する場合、スペーサーをねじ止めするのみでは基板のたわみ等が影響し、コネクタが完全に嵌合されない場合がございます。コネクタを確実に嵌合させた後、スペーサーを固定するようにしてください。

【トレイ梱包 保管時】

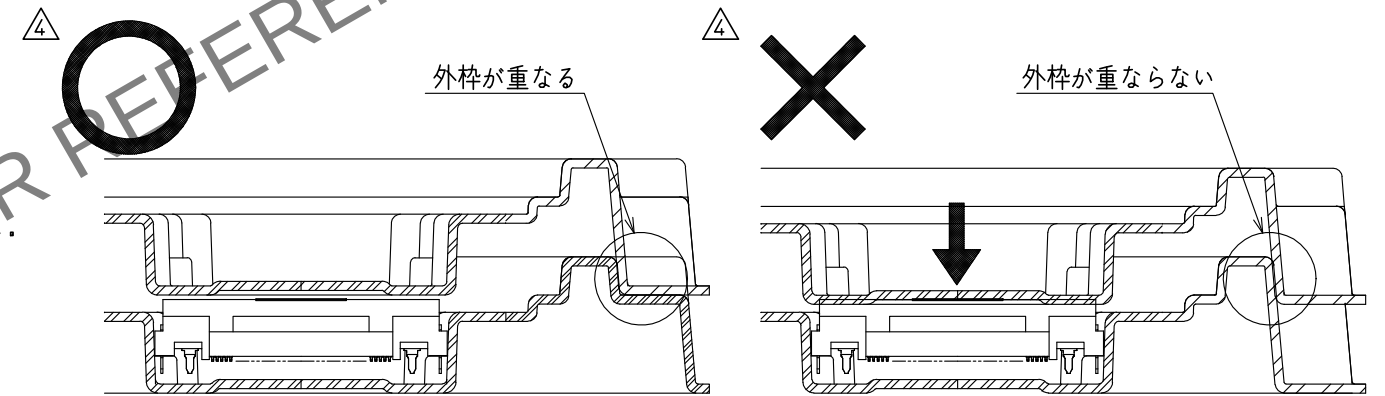
保管の際はトレイの組合せにご注意ください。トレイは「A」、「B」の2種類あり、交互に重ねるように作られています。



【トレイ-A】

【トレイ-B】

A-AやB-Bのように同じ種類のトレイが連続して重ねられた場合、トレイの構造上コネクタに直接負荷がかかってしまい、コネクタの破損や変形につながる恐れがあります。



正しい組合せの場合、トレイの外枠で重なる為、コネクタには負荷がかからない構造になっています。

同じ種類のトレイが連続して重ねられると外枠が重ならず、直接コネクタに負荷がかかる状態になってしまいます。

保管の際はトレイがA-B-A-B・・・と必ず交互になるよう、ご注意ください。

【デザインガイドラインについて】

本製品の製品特徴及びお取り扱い方法に関しての情報提供を目的として、詳細な取扱説明書(ATAD-F0887-00)を別途用意しておりますので、必要に応じて弊社営業窓口にお問合せいただけますよう、よろしくお願い致します。